

アン・プライス、PR Works, Inc.
602-840-6495
anne@prworksonline.com

トヨタ自動車株式会社、Trusted Computing Group (TCG) に加盟

世界有数の自動車メーカー、TCG への加盟により、カーエレクトロニクス、 車載/リモート ネットワークのセキュリティ/高信頼化を推進

オレゴン州ポートランド、2012年3月15日、 - オープンな国際業界標準仕様を策定する組織である [Trusted Computing Group](#) (TCG) は、本日、トヨタ自動車株式会社の加盟を発表。これにより、著しく増加する車載電子システムおよびそれらを含むネットワークの、セキュリティ確保/高信頼化を目指す予定だ。

自動車やトラックに搭載する各種電子機器が急成長を遂げる一方、専門サービス、金融、製造業、ユーティリティ関連などの各業界では「信頼とセキュリティ」が重要な課題として取り上げられて来た。近年販売される大半の自動車には、安全性の確保をはじめ車載用インフォテインメント、装置制御、車両内/間通信、保守サービス用通信等を目的とした 50 ~ 100 個の強力なプロセッサが内蔵され、相互接続されている。

「2012 年 1 月に米国学術研究会議 (NRC) の輸送調査委員会が発表したレポート*にもあるように、自動車向け電子機器の有用性は増しています。今回加盟して頂いたトヨタをはじめ他の加盟企業の専門知識を結集すれば、自動車に於ける高精度システムのセキュリティ/高信頼化が達成可能で、運転者および乗客の安全を実現する国際標準仕様が策定できると確信しています。」(TCG 常任理事で、Embedded Systems Work Group Co-Chairである小谷誠剛)

PC や従来の IT機器/ ネットワークと同様、自動車関連業界は偶発的あるいは悪意のある攻撃、また関連システムへの不正アクセス阻止に向けて取り組んでおり、次の点が今後の課題として挙げられる。

- システムへのアクセスに際しセキュアな認証方式の確立
- データおよびシステムの整合性の確保
- 保存された情報の保護

TCG は、[トラステッド プラットフォーム モジュール](#) (TPM)、[自己暗号化ドライブ](#) (SEDs)、[ネットワーク セキュリティ プロトコル](#) (TNC) など、ルート オブ トラスト

(信頼基点) 構想に基づく技術/仕様を数多く策定、公開済み。

2011 年に TCG が業界有数の企業数社で設立した [Embedded Systems Work Group](#) (組込み機器向け検討作業部会)は、組込み機器向け仕様等を策定中であり、これにより、例えばセキュアな更新メカニズムを備えたリモート メンテナンスといった自動車制御システムの高信頼化とセキュリティの統合が実現する。このセキュアな更新メカニズムには、その時点での車載ソフトウェアおよびハードウェア状況の遠隔からの正確な把握、更新すべきソフトウェアのインストール完了の確認、それら一連の運用/作業記録の証拠保存などが含まれる。

これらの技術は、産業機器制御やモバイル通信、その他の種々の機器にも適用できる。

Trusted Computing Group (TCG) はオープンな業界標準仕様の策定により、プラットフォーム全体、また遠隔地でもより安全なコンピューティング環境を実現します。トラステッド コンピューティングのメリットには、ビジネス クリティカルなデータおよびシステムの保護、セキュアな認証方式、ユーザ ID の強力な保護、マシン ID およびネットワーク真正性の確保などがあります。信頼性が高く、広く入手できる内蔵型ハードウェアおよびアプリケーションを利用している組織では、総導入/所有コストを削減できます。また TCG 技術は、信頼性のあるハードウェアを対象とした規制にも適合しています。これらの 情報および TCG 策定の仕様書、ワーク グループ等の詳細については、[トラステッド コンピューティング グループのホームページ](#) (www.trustedcomputinggroup.org) をご覧ください。 TCG は [Twitter](#) および [LinkedIn](#) でフォローできます。

記載のブランド名および商標はすべて各所有者に帰属します。

* レポートの詳細は、[こちら](#)からご覧いただけます。